



「できるか？」ときかれたらすぐに「もちろん！」と答えること。それから懸命にやり方をみつけたい。

S. ルーズベルト

2017年3月号 フォーラムだより

自立学習教室 あんどうフォーラム
「考える遊び」認定教室
ピグマリオン横浜南教室
～平成 29年3月7日発行～

HP : <http://www.andu-forum.com>

☎ : 045-241-1854

●さあ 新年度の学習が始まります●

漢字検定が終わりました。結果はまだ出ませんが、次の学習を始めた子供たちがいます。「いちまる」は使いやすい検定準備のテキストのようで、漢字検定にチャレンジを始めて3年目。検定終了と同時に次の学習を始めようというこの気配に感動しています。「まだ学校でやってない」が取り組まない理由だった子供たちも「ずいぶん変わったなあ」と思います。

5日分までやったらチェックテスト。という流れも、定着して、「テストをください」「記録表はどこですか？」と子どもたちのほうからの要請にうれしい悲鳴を上げています。習慣ができてしまえば、子供たちはストレスなく、学習を進めることができるのですね。またひとつ学びました。うれしい変化です。

そして、今年度定着させなければいけないのは、うざわの国語学習の仕方。全員音読。目的はぼんやりした知識を明確な知識にかえること。1年かけて、本を丸ごと数冊読んで、一つ一つのことばに、注目して、語彙をふやしていきながら名文を味わっていったら、いいなあと思います。古文・漢文・百人一首は全員で。全員音読は「くもの糸」「坊ちゃん」「我輩は猫である」「銀河鉄道の夜」など。読解・漢字教材として小学1・2年生は桃太郎・八起の大蛇・花咲爺・因幡の白兔・一寸法師・舌切り雀・猿蟹合戦・こぶとり爺・カチカチ山・大江山・扇の的・雪女・金太郎など。3・4年生は谷川俊太郎・司馬遼太郎・大江健三郎・養老武・井上ひさし・多胡輝・夏目漱石・太宰治・須賀敦子・横溝利一の文より。少しはじめは難しいと感じるかもしれませんが、1年上の塾生と一緒に取り組みます。それぞれ2年かけて、取り組みます。

5・6年生も同じ内容で、取り組みます。漢字はここからも学びます。繰り返して、音読することで、文脈がわかって来て、意味のわかった漢字を覚えることで、比較的難しい漢字も、苦勞せずかけるようになっていきます。

→次ページへ続く

→前頁からの続き

小さな変更点

①入退出カードをポイント制にします。なかなか習慣がつかず、お休みが記録に残らないのも困った点なのです。振り替えを着実に取ってもらうためにも、採用する方法です。お休みせずに通塾日数が、確保できている塾生にはご褒美をあげようと思います。月ごとにポイントを確認します。さて3月はどうなるでしょう。

②毎日の学習を終えたら、5行以上で、その日の学習内容や、わかったことやわからないことなど、心に残ったことがあれば、記録してもらいます。これも一週間単位で、処理していきます。昨年学習報告が途中で途切れてしまいました。申し訳ありません。また再スタートしますが、みんなにも協力してもらうことにしました。書くことを日常的にするために。

③ Mothers' Café を再スタートします。気軽に集まっておしゃべりできる場を作りたいと思います。まずは5月にと考えています。

僧侶で作家の小池龍之介さんは、「私たち人間には、身近な人の気に入らない部分に働きかけ、思い通りにしたいという欲があるのです」

「支配欲にかられ、押し付けると、相手は必ず反発するか不満を感じますので、支配なんてうまくいきっこないのが定め」「失敗に怒りを感じて互いに苦しむのですから、大変不毛なことと申せましょう」（毎日新聞・2016年11月13日）といっています。

子どもとほとんどの時間を共有し、あまりに距離が近すぎる存在であるお母様がたは、子どもの悪いところばかりが気になって過干渉気味になることがあると思います。

「視点を変えてみましょう」「客観的にみてみましょう」「たとえば、この子がうちの子じゃなく“よその子”だったら」と考えてみると、日ごろは気付かないわが子の一面に気付くことができるかも知れません。

「わが子であっても、別の人格」「子どもだからといって、自分の思うようにはならない」そう日々意識することは、忙しい毎日のなかでもとても重要であると感じます。「あわてず、さわがず、穏やかに接すること」大変難しいことですが、そのためには、「子どもを思い通りに動かしたいと思っている」自分自身の支配欲があるのではないかと考えてみると、新たな一歩がふみだせるかもしれません。

私も塾での指導の中でつい、思い通りに学習をしてほしいと望むことが多くあります。子供たちに課題に向かわせながらも、子供たちの心の声にも耳を傾けることを忘れないように意識的に接していきたいと思います。

●ふたたび 聞く力の大切さについて●

最近、教育現場で多くの関係者が実感していることの一つに、「人の話をしっかり聞けない」お子さんが増えていることがあります。「聞く力」を育てることは、

1. 周囲に気を散らさず、物事に集中する力を育てること
2. 相手の言葉に耳を傾けながら、場面を思い描き、状況を想像する力をはぐくむこと
3. 相手の立場になって、相手を理解しようとする思いやりの心を育てること。幼児・児童期に「聞く力」をつけているお子さんは、学力が伸びるだけではなく、社会人になって多様な立場の人とコミュニケーションをとり、人間関係を築くこともうまくできるようになってくる、という指摘もあります。(PHP のびのび子育て 2016年5月号)

授業中にわからないからと質問に来て、図を描いたりしながら説明することがよくあります。「説明されている図を見ずに、どこか違うところを見ている」場面がありました。ふしぎなので「聞いていますか？」と確認すると始めて気がついたように「はい」と答えます。しかし話した内容を確認するとわかっていないのです。日常的に自分以外の人が話していることを「注意深く聞く習慣」がないのだとそのとき感じました。自分にとって必要なことと自分には不必要なことを聞き分ける力は必要ですが、それは十分聞いた後に初めてできることです。日ごろからご家庭でのコミュニケーションの様子をぜひこの視点から見直してみてください。

そしてもうひとつ別の視点から... 幼児さんの授業の中でお子さんと一緒に授業を見てくださるお母様がいらっしゃいます。そのお母様は指導者の指示をきいて正しい対応ができていくかにとても気を遣われます。子供がちょっと違った対応をしたり、別の話をしようとする、「いま先生は、なんていったの？」を繰り返して問いお子様を集中するよう手助けしてくださいます。また私の指示がわかりにくくてお子様がとまどっているときなど私のことばをかみくだいて指示の確認をしてくださいます。これは子供の知っていることばを十分把握している母親だからできることです。私はそのたびに「ああ、難しいことばを使ってしまったのだなあ」と学ばせていただいています。そしてさらに関心なのは、その息子さんです。繰り返されるお母様のことばを素直に受け止めて修正するのです。失礼ですが、これはきっとご家庭においても同じなのだと推測しました。そして子供の聞く力の原点はここにあるとも感じました。お子様との会話を振り返る参考してください。

★3月より入学までの準備体験キャンペーンをはじめます。

幼稚園入学・小学校入学・中学校入学予定のお友達や、お知り合いのかたがご近所にいらっしゃったら、ぜひご紹介ください。All is well that ends well.(初めよければすべてよし)とシェイクスピアが言っているように、心構えをすることはよいスタートを切るためにとても大切なことです。

★3月・4月の予定★ (年間各曜日42週に調整しています)

2017 3月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

2017 4月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

4/1は春期講習中ですが通常授業も行います。

★今年からフリーデーは第Ⅰ・第Ⅲ月曜日を原則に入れていきます。3月フリーデーは、3/6日と20日になります。4月は早速4月は変更で、17・24日になります。土曜日までに申し出をしてください。申し込みがない時は閉塾になることもあります。

●振替のお知らせ●(旧年度分)

10/22(土)休塾→ 4/1(土) <春期講習中>
 11/ 3(木)休塾→ 3/30(木) <春期講習中>

★3/7(火) 新年度(29年度)が始まります。教材1年分を配布予定です。

変更した教材は 国語では小学生ワーク<国語>これは教科書準拠ですから、基本、宿題で処理します。教室では、家での学習につなげるため、1ページに取り組みます。教室ではうざわの教材の音読と漢字練習と読解が中心になります。「読書」はお申し出がない限り、授業時間とは別に20分とることになります。

算数ではどんぐりクラブの良質の算数文章問題に1枚取り組みます。宿題にも1枚持って帰ってもらいます。

●突然ですが、3月開講 2017年度「キックオフ会」

3月19(日)か20日(月) 19日ならば13:00~ 20日ならば16:00~

〔なに〕を楽しむかはみんなから募集します。時間がありませんから、2週間で考えて、アイデアをお寄せください。もちろん子供たちだけでなく、お母さん方もお時間がありましたら、参加してください。毎日子供たちを見ているお母さん方にはきっとよいアイデアがあると思います。5月のCafé会のご希望も伺いたいと思っています。

●春季講習●3/27(月)~4/4(土)の8日間です。普段の学習習慣を崩さない程度のまた遣り残しをやり切れる程度の日程で参加していただく予定です。